

Road to 71 国体 ～選手強化の取組～

vol.2

第71回国民体育大会強化委員会

長崎国体本大会開催（前期競技終了）にともない、各競技団体とも昨年度以上の成績を収めるために、例年以上に充実した強化事業を実施し、本番に備えています。第71回国民体育大会強化委員会としては、岩手国体本番を見据え、今年度新たな事業を行いました。今回は第74号に引き続き、すでに実施した事業を紹介します。

～71国体指導者～

第71回国民体育大会 指定証授与式



選手強化の4本柱の一つ、「指導体制の確立」の方針に基づき、今年度新たに第71回国民体育大会指導者の指定を行いました。これは、岩手国体に向けて各競技別に選手強化の中心となる指導者を指定して、重点的かつ継続的な強化事業のもとに競技力の向上を図ることを目的としています。

また、全国レベルの外部指導者に対し、更にレベルの高い指導方法や技術の定着を図ることを目的とし、71国体アドバイザーとして委嘱しています。

6月4日にいわて県民情報交流センター アイーナホールで開催された指定証授与式では指導者356名を指定し、達増拓也委員長から指導者の代表に指定証が手渡されました。そして、冬季大会・本大会競技それぞれの代表監督から、力強い決意を表明してもらいました。

～県外出身選手～

トップアスリート ニューフェイス・ミーティング

岩手国体に向けて、県内企業等に就職した県外出身の強化選手の情報交換の場を設け、生活環境等の変化により選手として抱えている不安や悩みの解消や、岩手県選手としての意識を高めることを目的に開催されました。

7月31日に紫波町のオガールベースで開催されたこの企画には、県外出身強化選手9名の他、県外出身指導者2名、選手雇用企業代表1名も加わり、座談会方式でディスカッションをしました。始めは緊張気味の参加者も、会の終盤ではすっかり打ち解け合い、互いに「チーム岩手」の一員として存分に力を発揮し、まずは今年の東北総体を突破し、長崎国体での活躍と、岩手国体成功に向けて、各々の環境で頑張っていくことを誓い合いました。



頑張れ岩手県選手団